



発行 徳島市西新浜町二丁目3番102号 TEL 088-676-2200 FAX 088-676-2201
 URL : <http://www.toku-forest.com/> E-mail : info@toku-forest.com



海陽町・城満寺（竹灯り）



Contents

国際協同組合年(IYC2025)記念講演	2
第30回JForest全国森林組合大会	3
第4回ゆうあいフェスタ	4
令和7年度森林組合役職員研修会	5
木育教室の開催	6
令和7年度とくしま植林隊	7

国際協同組今年(IYC2025)記念講演

—令和7年9月8日(徳島県JA会館・別館)—



国連は「一年間を通じて、平和と安全、開発、人権・人権の問題など、ひとつの特定のテーマを設定し、国際社会の関心を喚起し、取り組みを促すため」に「国際年」を設定しています。国連はその一環として2023年12月の「社会開発における協同組合」と題する総会決議のなかで、2025年を2012年に続き2回目の国際協同組今年（International Year of Cooperatives = IYC）とすると決めました。

上述の国連総会決議では、すべての加盟国に対し、「協同組合を振興促進し、持続可能な開発目標の実施と社会・経済開発全体に対する協同組合の貢献に対する認知を高める方法として、「国際協同組今年」を活用することを促す。」としたうえで、協同組合の人間らしい雇用の創出、貧困と飢餓の解消、教育、社会的保護、金融包摂、手頃な価格の住宅、包摂的な社会の構築などへの貢献を支援することを求めています。

このように協同組合への注目が集まるなか、本県においても、協同組合の意義を再認識し、各協同組合間のさらなる連携及び理念の周知徹底等を図るため、本県協同組合の同志（農協・生協・森林組合）が集い、「国際協同組今年（IYC2025）記念講演」を盛大に開催しました。

このように協同組合への注目が集まるなか、本県においても、協同組合の意義を再認識し、各協同組合間のさらなる連携及び理念の周知徹底等を図るため、本県協同組合の同志（農協・生協・森林組合）が集い、「国際協同組今年（IYC2025）記念講演」を盛大に開催しました。

講師には、日本協同組合連携機構の阿高主任研究員並びに日本農業新聞の細谷特別論説委員をお迎えし、貴重なご講演をいただきました。

両講師からは、協同組合の歴史や昨今の食糧問題についてご説明いただくとともに、今後の協同組合のあり方等についてお示しいただくなど、大変有意義な講演となりました。

●挨拶（幹事団体）

J A 徳島中央会 代表理事会長 松田 清見 氏

●来賓挨拶【徳島県知事メッセージ】

徳島県 農林水産政策課 課長 平島 聡一郎 氏

●記念講演①

演目：協同組合のこれからについて

講師：日本協同組合連携機構 主任研究員 阿高 あや 氏

●記念講演②

演目：食料安全保障と米問題について

講師：日本農業新聞 特別論説委員 細谷 章 氏



国際協同組今年

協同組合はよりよい世界を築きます

第30回 JForest 全国森林組合大会

国際協同組合年記念大会



第30回森林組合大会が10月21日(火)に東京都中央区の銀座ブロッサム中央会館で開催されました。全国から約700名の森林組合関係者が参加し、本県からは和泉会長ら11名が参加しました。

大会では、森林組合系統発展に功績のあった森林組合に林野庁長官表彰が贈られ、徳島県からは木頭森林組合が優良森林組合として表彰されました。

また、全森連会長表彰では409の団体・個人が表彰され、永年勤続連合会職員15名を代表して、本会の杉本雅彦氏が登壇しました。

(本県の受賞者は下記のとおりです。)

続いて、「系統運動に推進に必要な財源確保について」、「国際協同組合年を契機とした森林組合の発展について」として2つの意見表明が行われた後、大会決議が全会一致で採択され、頑張ろう三唱を行い、盛会のもと大会は閉会しました。

大会終了後、国会議員会館を訪問し、本県選出国會議員への要望活動を行い、「林業政策・予算に関する要望書」を手渡しました。

● 林野庁長官表彰

優良森林組合 木頭森林組合

● 全国森林組合連合会会長表彰

功労者表彰 (永年勤続)

(1) 連合会職員

徳島県森林組合連合会 杉本 雅彦 氏

(2) 森林組合職員

徳島中央森林組合 柿平 龍進 氏

(3) 現場技能者

木頭森林組合 久川 忠晴 氏

美馬森林組合 大西 剛史 氏

三好西部森林組合 上森 啓二 氏

三好西部森林組合 小川 和起 氏

三好西部森林組合 土橋 怜 氏



林野庁長官表彰 (木頭森林組合)



功労者表彰 (連合会職員)

第4回ゆうあいフェスタ ～賀川豊彦と協同組合～

令和7年11月8日（土）に、鳴門市賀川豊彦記念館で開催された「第4回ゆうあいフェスタ（11月8日～16日まで開催）」に参加しました。

本年は「国際協同組合年」であることを踏まえ、一般の来場者に対し、協同組合並びに森林組合の認知向上を図る絶好の機会と捉え、参加する運びとなりました。

当日は、協同組合を中心に様々な団体が出店（出展）し、物品販売等を通じてPRに努めたほか、ステージでは地元の保育園児や中高生によるパフォーマンスに加え、抽選会や餅投げ大会も行われ、多くの人で賑わいました。

今後もイベント等を通じて、協同組合・森林組合の認知向上に努めて参ります。



＝鳴門市賀川豊彦記念館「世界協同組合文化遺産」に選定＝

令和7年11月13日、鳴門市賀川豊彦記念館が、国際協同組合同盟（ICA）より「世界協同組合文化遺産」に選定されました。これは世界25か国31組織のうち、日本で唯一の選定となっています。

記念館が評価された理由は、徳島が生んだ社会運動家・賀川豊彦の友愛・互助・平和の精神を伝える多数の資料と、周辺の自然と調和した施設の外観が評価されたものです。

今年国連の定めた「国際協同組合年」で、その一つの取り組みとして、協同組合の理念を広めようと選定されました。

令和7年度 森林組合役職員研修会

令和7年11月17日（月）、エコみらいとくしまにおいて、森林組合役職員をはじめ、県担当部局、農林中央金庫からも多数ご出席をいただき、森林組合役職員研修会を開催しました。

はじめに、農林中央金庫高松支店の清水次長より、「森林組合系統職員向けのコンプライアンス研修」と題して、主にハラスメント防止や情報セキュリティ管理についてご説明いただき、コンプライアンス態勢の強化に努めました。

続いて、徳島県林業振興課の林課長補佐より、「徳島県における森林林業施策について」説明があり、令和6年度～10年度における施策の内容や造林公共予算の状況と今後の方向性、新規就業者を対象としたアンケート結果などについてお示しいたされました。

さらには、徳島県木材協同組合連合会の金磯係長からは、「木質バイオマス証明にかかる事業者認定等について」、組合林業株式会社の堀部長からは、「森林組合を取り巻くリスクと損害保険」についてご説明いただきました。

いずれの研修も組合運営を行っていく上で、非常に重要な内容となっており、森林組合役職員の資質向上に繋がる有意義な研修会となりました。

〈研修内容〉

- 開 会（13：30）
JForest 森林組合綱領唱和
- 主催者挨拶
徳島県森林組合連合会 代表理事長 和泉 隆啓
- 「コンプライアンス研修」（13：40～14：50）
農林中央金庫高松支店 四国営業部 次長 清水 悠 氏
- 「徳島県における森林林業施策について」（15：00～15：30）
徳島県林業振興課 課長補佐 林 真紀 氏
- 「木質バイオマス証明にかかる事業者認定等について」（15：30～16：00）
徳島県木材協同組合連合会 業務係長 金磯 牧夫 氏
- 「森林組合を取り巻くリスクと損害保険」（16：00～16：30）
組合林業株式会社 保険部部長 堀 武夫 氏





木育教室の開催

主催：農林中央金庫・徳島県森林組合連合会



令和7年12月9日(火)、徳島市蔵本町の『ソーレ保育園 蔵本園』において、木育教室を開催しました。主催者である農林中央金庫及び本会では、徳島県の豊かな森林で育った木を「見て」「触れて」「感じて」いただきたいとの思いのもと、毎年10月に開催される「とくしま木づかいフェア」において、幼稚園・保育園を対象に県産材を使用した木製品の寄贈を行い、大変好評を得てきました。※令和6年の寄贈を以て終了

今回の木育教室は、令和6年に木製遊具を寄贈しました「ソーレ保育園 蔵本園」を訪問し、紙芝居を用いた木育教室や木製すだちくんキーホルダーを贈呈しました。

園児達には、自然の大切さや徳島の木の素晴らしさを知ってもらう絶好の機会となりました。

なお、木製品の寄贈が令和6年度を以て終了したため、幼稚園・保育園を訪問し、木育教室を開催するのは今回が最後となりますが、今後も木育活動を通じて、木への親しみや木の文化への理解を深め、豊かな心を育んでもらえるよう活動していきたいと考えています。



林業退職金共済制度 働く方への贈り物

林退共は、林業界で働かれる従業員のための退職金制度です！

独立行政法人勤労者退職金共済機構 **林業退職金共済事業本部**

〒170-8055 東京都豊島区東池袋 1-24-1 TEL 03(6731)2889 FAX 03(6731)2890



—お問い合わせは—

徳島県森林組合連合会(林退共担当)まで

TEL : 088(676)2200 FAX : 088(676)2201

Mail : info@toku-forest.com



令和7年度 とくしま植林隊

開催日:令和7年12月15日~19日

徳島県では、学生からシニア等の元気な方の活躍を後押しするため、様々な「学びの場」や「活動の場」を創出しています。林業分野においても、植林や植林後の維持管理に必要な人材が不足しているため、令和元年度より、県の委託事業において「とくしま植林隊」研修を開催していますが、今年度は11名から応募があり、5日間の研修を実施いたしました。

初日の座学では、本県の森林・林業の現状と課題について理解を深めてもらったことに加え、種子採取から苗木生産までの流れやシカの食害対策、安全な造林作業などについても学んでいただきました。2日目以降の実習（3日間）においては、地拵えや防護柵の設置を行った後、ヒノキのコンテナ苗木を植林したほか、ドローンのデモフライトや食害防止チューブの紹介なども行い、植林作業に関する基礎技術を習得してもらいました。

また、最終日には、将来的に植林作業へ従事する可能性に備え、林業木材製造業労働災害防止協会徳島県支部による「刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育」を受講いただいております。

なお、修了者の中で希望される方を対象に「植林隊」として登録し（登録後は県で管理）、経営体から要望があった場合は、植林現場等へ派遣できる体制づくりを行っています。今回修了した11名全員が「植林隊」への登録を希望されています。



座学の様子



実習の様子（地拵え作業）



実習の様子（防護柵設置作業）

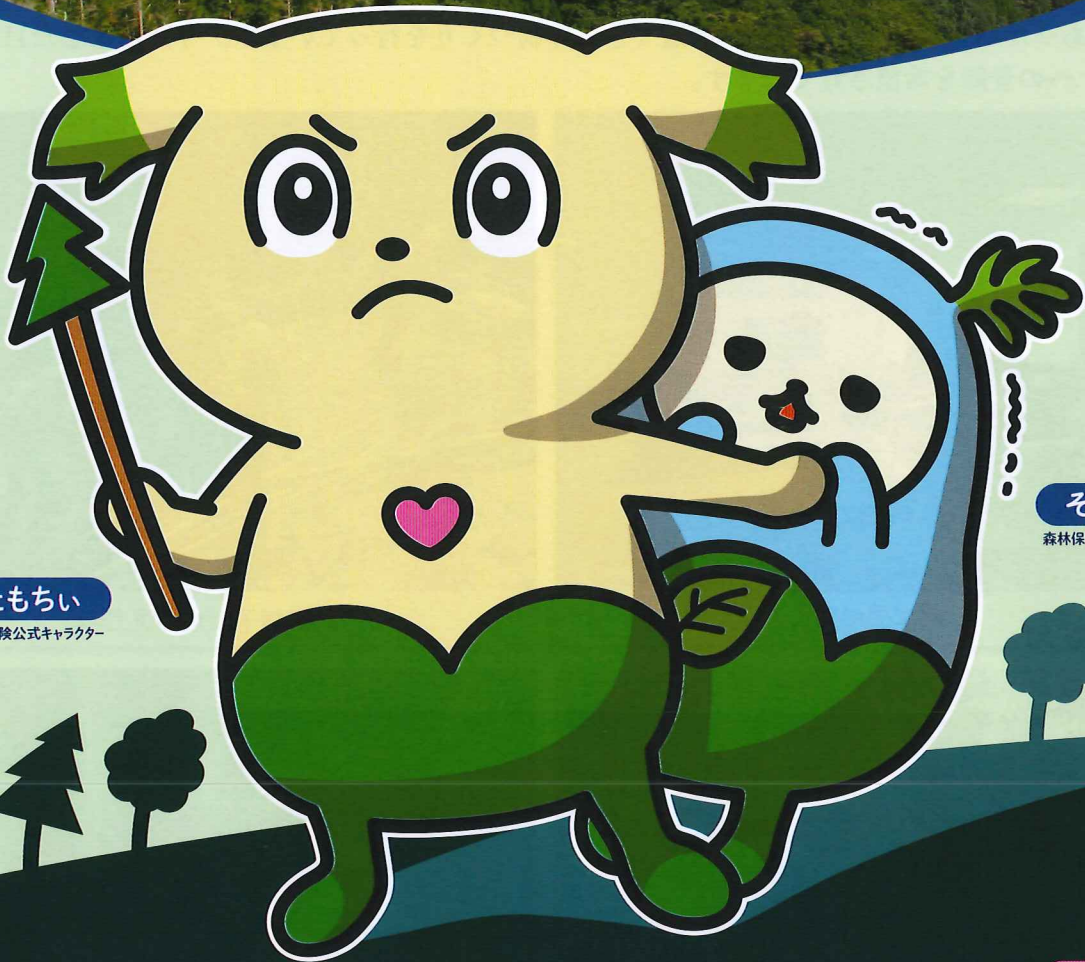


実習の様子（植林作業）

山火事や豪雨、大雪など8種類の災害に備えるセーフティネット

森 林 保 険

いつかくる？ 備えはある？



たもち
森林保険公式キャラクター

そよりん
森林保険公式キャラクター

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林保険センター



詳しくはウェブサイトをご覧ください →

お申し込みは、お近くの森林組合、または森林組合連合会へご相談ください。